

# 第30期 事業報告書

平成17年7月1日から平成18年6月30日まで

## Dream

夢をひとつに。



Medical



Medical  
Device



Industrial  
Device



ASAHI INTECC CO., LTD.

## 目次

ごあいさつ	2
連結財務ハイライト	3
トピックス	5
セグメント別営業の概況	7
財務諸表（連結）	9
●連結貸借対照表 ●連結損益計算書	
●連結株主資本等変動計算書	
●連結キャッシュ・フロー計算書	
財務諸表（単体）・株式の状況	11
●貸借対照表 ●損益計算書	
●株主資本等変動計算書	
●株式の状況	
会社の概要・株主メモ	13



## ごあいさつ

### 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ここに当社グループ第30期連結会計期間（平成17年7月1日から平成18年6月30日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格が高水準で推移するなどのマイナス要素はあるものの、企業収益の改善やそれに伴う設備投資の増加、さらには個人消費の回復等により、明るい兆しが見え始め、景気は回復基調を示しております。また、世界経済におきましては、原油価格の高騰懸念はあるものの、米国の景気は拡大を維持、欧州についても緩やかな景気回復基調にあるなど好調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは医療機器分野を中心とした海外売上高の拡大に向けて、米国・欧州・アジアを中心としたグローバル展開を加速化し、また高付加価値製品の拡大に向けて、技術的優位性と開発力の向上に努め、絶えず製品の高機能化・高品質化に注力いたしました。

その結果、当連結会計年度における売上高は98億83百万円（前年同期比25.3%増）、経常利益19億95百万円（同34.9%増）、当期純利益は10億78百万円（同19.9%増）と大変好調に推移いたしました。



なお、当連結会計年度より開始した中期3か年計画「中期経営計画06-08」は、このように今期業績が予想以上に好調に推移し、また今後も好調な推移を辿る見込みが高いことから、平成18年8月にさらに高い計画へ見直しを行っております。

当社グループは、研究開発型企業として、医療及び産業機器分野において、安全と信頼を基盤とする「Only One」技術や「Number One」製品を世界に発信し続けることにより、全てのお客様の「夢」を実現すると共に、広く社会に貢献していくことを企業理念としております。

当社グループの医療機器分野事業は、主に、傷口が小さく痛みの少ない「低侵襲治療」の製品を開発・製造・販売しており、患者様の肉体的・精神的・経済的負担を軽減し、そして医療費抑制にも貢献できる、大変意義のある事業であると考えております。

今後も、社会に貢献できる企業であり続ける事で、社会からも市場からも評価される企業として、さらなる成長を遂げたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

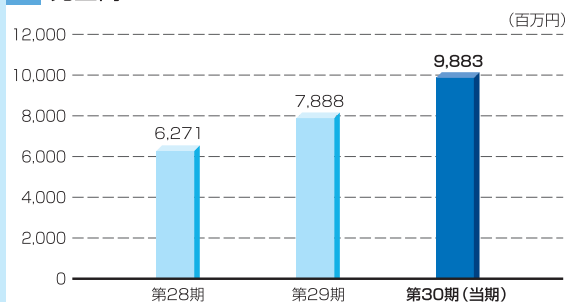
平成18年9月

代表取締役社長 菅田尚彦

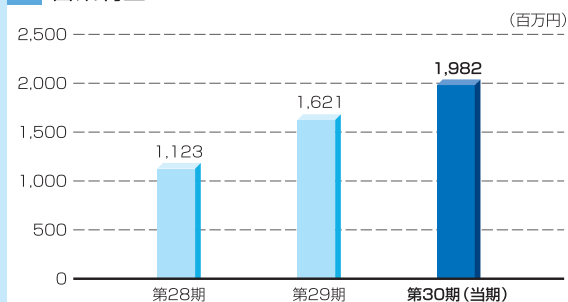
# 連結財務ハイライト

▶ DATA

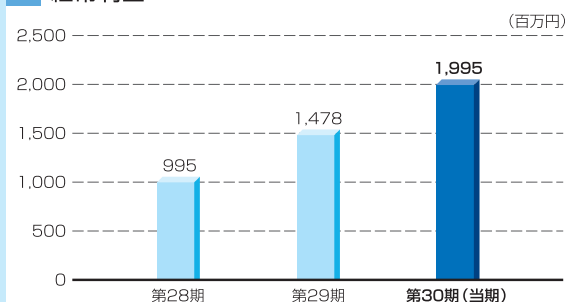
## 売上高



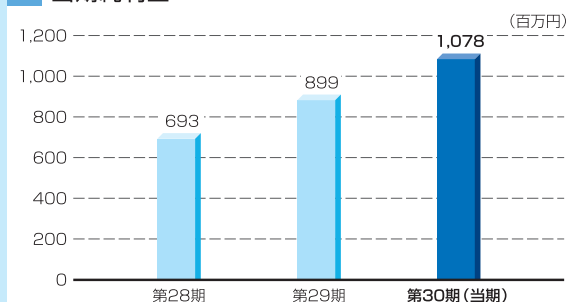
## 営業利益



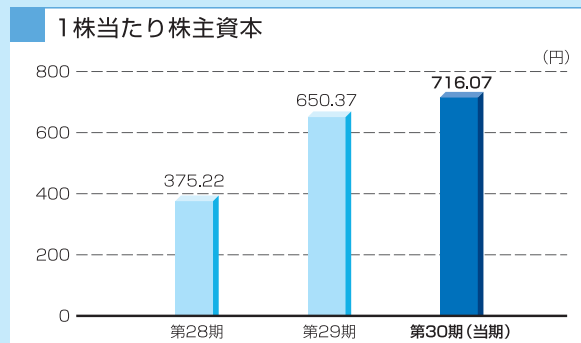
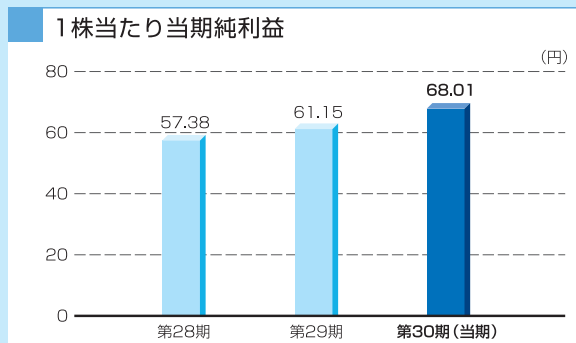
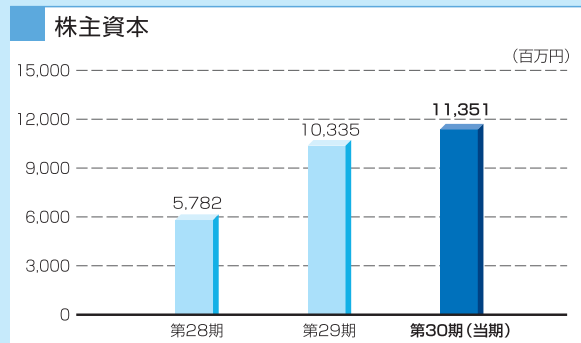
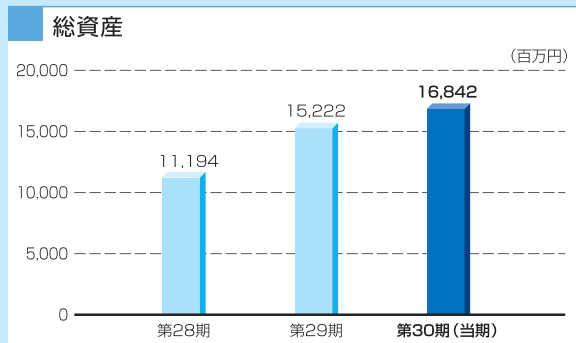
## 経常利益



## 当期純利益



区分	第28期	第29期	第30期(当期)
売上高(百万円)	6,271	7,888	9,883
営業利益(百万円)	1,123	1,621	1,982
経常利益(百万円)	995	1,478	1,995
当期純利益(百万円)	693	899	1,078
総資産(百万円)	11,194	15,222	16,842



(注) 当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の株式分割を行い、平成17年8月19日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
上記「1株当たり当期純利益」「1株当たり株主資本」のグラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。

区分	第28期	第29期	第30期(当期)
株主資本(百万円)	5,782	10,335	11,351
株主資本比率(%)	51.7	67.9	67.4
1株当たり当期純利益(円)	114.76	122.30	68.01
1株当たり株主資本(円)	750.43	1,300.75	716.07
1株当たり配当金(円)	20.00 (10.00)	30.00 (15.00)	17.50

(注) 1.当社は、平成16年3月22日付で株式1株につき3株の株式分割を行い、平成17年8月19日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。  
上記の数表における1株当たりの数値については、当該決算期の平均発行済株式総数に基づく数値を表記しております。  
2.1株当たり配当金の( )は、上記株式分割を加味し、遡及修正を行った場合の数値を表記しております。



## TOPICS

## 1

## アボット ラボラトリーズ社との販売代理店契約を延長

当社は、海外の主軸市場である米国・欧州市場におきまして、米国大手のアボット ラボラトリーズ社とPTCAガイドワイヤー等の独占販売代理店契約を締結しております。契約期間は、当初、2年間としておりましたが、取引が大変好調に推移したことや、アボット ラボラトリーズ社によるガイダント社のバスキュラー事業買収を機に、特に米国市場において更なるシェア拡大や一層のグローバル展開を図ることを目的として、2006年5月に契約期間を2011年12月まで延長したほか、年間最低取引本数を大幅に増加することいたしました。



## アボット ラボラトリーズ社の概要

社 名：Abbott Laboratories  
 所 在 地：米国イリノイ州  
 設 立：1888年  
 資 本 金：35億23百万ドル(2005年)  
 従 業 員 数：約65,000人  
 売 上：223億38百万ドル(2005年)  
 事業領域：医薬品、分析機器、栄養剤、  
 医療機器等の研究・開発、  
 輸出入、製造、販売、サービス  
 U R L：<http://www.abbott.com/>

アボット ラボラトリーズ社ホームページでの当社製品紹介

## TOPICS

## 2

## 大阪R&amp;Dセンター(大阪府和泉市)

研究開発型企業である当社は、4つのコアテクノロジー(伸線技術、ワイヤーフォーミング技術、コーティング技術、トルク技術)を主体とした高度で独自性の高い素材加工技術を備えております。これらの技術に加え、原材料から製品までの一貫生産体制により、高度な素材及び機能を有した製品の開発・製造が可能となっております。

これをさらに強化するため、「大阪R&Dセンター」を平成18年6月大阪府和泉市に竣工いたしました。今後におきましても、大阪R&Dセンターを中心として素材研究・最先端医療デバイスの研究開発活動を進め、さらなる競争力の強化を図って参ります。



大阪R&Dセンター

TOPICS

3

新製品のご紹介

当期も新製品を市場に投入し、当社製品のラインナップが広がりました。  
 リニューアル新製品のガイディングカテーテル「AXESS (アクセス)」は、ステンレスを特殊加工したハイテンションワイヤーを採用したことにより、PTCA治療の安全性と確実性の向上が実現されました。  
 ペリフェラル用ガイドワイヤー「Cruise (クルーズ)」は、先端が樹脂コーティング・親水性コーティングされており、優れた滑り性能と血管追従性が実現され、膝下などの蛇行した血管でもスムーズなワイヤー操作を可能としました。



ペリフェラル用ガイドワイヤー「Cruise (クルーズ)」

ガイディングカテーテル「AXESS (アクセス)」

TOPICS

4

ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. (ベトナム) 社屋完成

当社グループにおいてタイランドに次ぐ第二の海外生産拠点として、昨年10月よりハノイ市 タンロン工業団地に建築工事を進めておりましたベトナム新工場の建物が完成いたしました。当社スタッフも仮事務所より新社屋に移転し、現地スタッフの採用・教育、生産設備の導入など、本格生産の準備を進めております。(平成19年1月より生産開始予定)



TOPICS

5

シンガポール駐在所開設

メディカル事業におけるグローバル展開の拠点として、本年3月にシンガポール駐在所を開設し、4月より活動を開始いたしました。メディカル事業において、アジア市場は今後ますます拡大成長するものと期待されております。シンガポール駐在所の活動により、当社のアジア地域の営業基盤をさらに強化することとなります。  
 当社グループの医療事業は、シンガポール駐在所のほか、EU支店(オランダ アムステルダム)、子会社 ASAHI INTECC USA INC. (米国 カリフォルニア州)の3拠点と本社、海外営業グループの連携により、グローバル展開の加速化を進めて参ります。

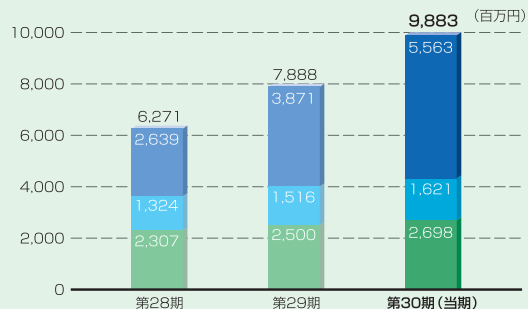


# セグメント別営業の概況

当社グループは、製品内容に応じ、  
 メディカル事業、  
 メディカルデバイス事業、  
 インダストリアルデバイス事業の  
 3事業にて構成されております。

## ●セグメント別売上高

- メディカル事業
- メディカルデバイス事業
- インダストリアルデバイス事業



## メディカル事業

メディカル事業の関連する医療機器業界におきましては、国内市場においては平成17年4月の改正薬事法施行のほか、平成18年4月には医療償還価格引下げや診療報酬改定、さらには診療報酬包括化の対象病院の拡大が行われるなど、政府の医療費抑制政策の強化が進み、市場環境はますます厳しくなっております。対して、グローバル市場環境は、大手医療機器企業間のM&Aによる企業編成が熾烈化するなど、競争の激化が進んでいるものの、PTCA治療に関しては、米国を中心に各国で薬剤ステントの普及が拡大することなどに伴いPTCA治療件数が増加しており、今後も拡大する傾向にあります。

このような環境の中、当社グループは、医療機器分野における循環器系の治療用カテーテルシステムについて、グローバル展開を加速化する事を中期戦略の一つに掲げております。主力製品PTCAガイドワイヤーについては、絶えず製品の高機能化・高品質化に注力することにより、北米地域・欧州地域、さらにはアジ

ア地域を中心として受注は大きく拡大しております。

海外の主要市場である米国・欧州市場におきましては、米国大手のアボット ラボラトリーズ社とPTCAガイドワイヤー等の独占販売代理店契約について、当初の予測以上に市場浸透が大変好調に推移したことなどにより、契約期間の延長とともに年間最低取引本数を大幅に増加することいたしました。

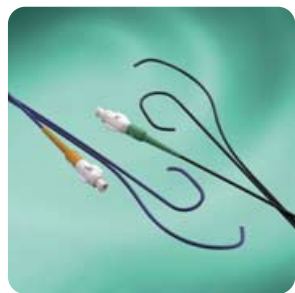
また、国内市場においてもリニューアル新製品であるガイディングカテーテルの市場投入が順調に進み、受注は拡大傾向にあります。このような結果、治療用カテーテルシステムは、前年同期に対して売上は大きく伸ばいたしました。

一方、検査用カテーテルシステムについては、競合品との競争激化の影響を受けたものの、国内外共に販促活動を強化し、前年同期に対して売上は微増いたしました。

以上の結果、売上高は55億63百万円(前年同期比43.7%増)、営業利益は19億80百万円(同42.3%増)となりました。



PTCAガイドワイヤー



PTCAガイディングカテーテル

### 低侵襲治療とは

医師が患者を治療する際に、患者に与える身体的・精神的ダメージのことを侵襲といいます。この侵襲を最小限に抑えるために、開胸・開腹手術をすることなく、最新の画像診断装置を駆使して血管の中から治療を行うことを低侵襲治療といいます。近年、内科・外科分野において広く応用されている治療方法であり、通常の外科手術に比較し、患者の身体的負担が軽減され、入院期間が短縮されるなどの利点があり、また付随して患者の経済的負担の軽減や、政府の医療費抑制策にも貢献する治療法と言われております。





Medical Device

## メディカルデバイス事業

メディカルデバイス事業の関連する医療機器業界におきましては、国内では政府の医療費抑制政策、同業者間における価格競争が激化していることにより、大手医療機器企業が強力な販売網を活かし販売に注力すべく、製品製造について当社のような技術力・生産力に強みを持つ企業へのアウトソーシングに委ねる傾向にあります。

このような環境の中、OEM供給品につきましては、国内医療機器メーカー向けの消化器系カテーテルシステムや中心静脈用カテーテルシステム及び海外向け検査用カテーテルシステムなど、従来からの取引製品の受注増加に加え、新規取引についても複数増加しており、前年同期に対して売上は増加いたしました。



ACTONE™ (アクトワン)

また、医療用部材につきましては、国内向けの内視鏡関連製品が下半期を中心に好調であったことや、ケーブルチューブ「ACTONE (アクトワン)」やトルクコイルについて米国市場において顧客製品の市場投入が現在一段落した傾向にあるものの、上期を中心に売上が好調であったことから、前年同期に対して売上は増加いたしました。

以上の結果、売上高は16億21百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は4億11百万円(同16.4%減)となりました。



Industrial Device

## インダストリアルデバイス事業

インダストリアルデバイス事業に関連する産業機器業界におきましては、企業収益の改善を背景とした設備投資の拡大が見込まれるものの、国内競合メーカーとの価格競争に加え、韓国・中国を中心とした海外廉価製品との価格競争の激化や、OA機器複合化に伴い製品の市場価格が下落傾向にあるなど、厳しい環境におかれております。

このような環境の中、端末加工品につきましては、国内企業向けの液晶関連製品の売上が減少したものの、国内及び海外のOA機器メーカー向けのプリンター用チャージワイヤーや光学駆動用端末加工品などの受注が

増加し、前年同期に対して売上はほぼ横ばいに推移いたしました。

一方、ワイヤー素材につきましては、イカ釣りを主とした漁業用ロープでの落ち込みがあったものの、自動車用セラミックス製フィルターカット用ロープや自動二輪車用コントロールケーブルの需要拡大、さらには警察庁向け拳銃盗難防止用ワイヤーの新規受注や海外向けの印刷機用タングステン線材の受注が拡大傾向にあるなど、前年同期に対して売上は増加いたしました。以上の結果、売上高は26億98百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は6億11百万円(同1.8%増)となりました。



シンクロメッシュロープ

# 財務諸表(連結)

▶ DATA

## 連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第29期 (平成17年6月30日現在)	第30期 (平成18年6月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	<b>10,193,103</b>	<b>9,102,692</b>
現金及び預金	6,270,682	4,243,545
受取手形及び売掛金	1,975,253	1,970,800
たな卸資産	1,408,294	1,870,797
繰延税金資産	104,128	132,904
その他	435,859	887,443
貸倒引当金	△ 1,114	△ 2,798
<b>固定資産</b>	<b>5,029,836</b>	<b>7,739,381</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>4,066,896</b>	<b>5,853,724</b>
建物及び構築物	1,407,720	2,506,935
機械装置及び運搬具	768,973	980,224
土地	1,606,466	1,298,386
建設仮勘定	83,105	796,603
その他	200,630	271,573
<b>無形固定資産</b>	<b>155,739</b>	<b>143,725</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>807,200</b>	<b>1,741,931</b>
投資有価証券	44,330	541,373
繰延税金資産	87,076	122,502
保険積立金	602,146	661,488
その他	96,747	440,832
貸倒引当金	△ 23,100	△ 24,265
<b>資産合計</b>	<b>15,222,940</b>	<b>16,842,073</b>

(単位:千円)

科 目	第29期 (平成17年6月30日現在)	第30期 (平成18年6月30日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,076,347</b>	<b>3,442,617</b>
支払手形及び買掛金	575,212	739,390
短期借入金	1,512,948	1,384,999
未払金	228,985	472,260
未払法人税等	388,087	334,601
賞与引当金	56,879	72,047
役員賞与引当金	—	38,000
その他	314,233	401,317
<b>固定負債</b>	<b>1,811,474</b>	<b>2,047,930</b>
長期借入金	1,237,942	1,479,154
退職給付引当金	136,741	162,478
役員退職慰労引当金	370,816	378,966
その他	65,974	27,331
<b>負債合計</b>	<b>4,887,822</b>	<b>5,490,548</b>
<b>【資本の部】</b>		
資本金	4,167,950	—
資本剰余金	4,060,960	—
利益剰余金	2,304,211	—
その他有価証券評価差額金	2,310	—
為替換算調整勘定	△ 200,313	—
<b>資本合計</b>	<b>10,335,118</b>	<b>—</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>15,222,940</b>	<b>—</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	<b>—</b>	<b>11,348,369</b>
資本金	—	4,167,950
資本剰余金	—	4,060,960
利益剰余金	—	3,119,615
自己株式	—	△ 156
<b>評価・換算差額等</b>	<b>—</b>	<b>3,156</b>
その他有価証券評価差額金	—	△ 17,977
為替換算調整勘定	—	21,134
<b>純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>11,351,525</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>—</b>	<b>16,842,073</b>

## 連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	第29期	第30期
	(平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)
売上高	7,888,721	9,883,921
売上原価	3,462,031	4,331,489
売上総利益	4,426,689	5,552,431
販売費及び一般管理費	2,805,234	3,569,531
営業利益	1,621,454	1,982,900
営業外収益	13,913	60,138
営業外費用	156,445	47,306
経常利益	1,478,922	1,995,732
特別利益	480	1,409
特別損失	6,305	241,200
税金等調整前当期純利益	1,473,097	1,755,941
法人税、住民税及び事業税	559,164	729,911
法人税等調整額	14,851	△ 50,272
少数株主損失	-	1,890
当期純利益	899,081	1,078,193

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	第29期	第30期
	(平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	899,354	1,423,353
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,418,834	△ 2,243,585
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,669,457	△ 175,442
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,299	63,118
現金及び現金同等物の増減額	1,159,276	△ 932,556
現金及び現金同等物の期首残高	3,026,301	4,185,578
現金及び現金同等物の期末残高	4,185,578	3,253,022

## 連結株主資本等変動計算書 (平成17年7月1日から平成18年6月30日まで)

(単位:千円)

科 目	株 主 資 本					評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成17年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	2,304,211	-	10,533,121	△ 198,003	10,335,118
連結会計年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 237,789		△ 237,789	-	△ 237,789
役員賞与の支給			△ 25,000		△ 25,000	-	△ 25,000
当期純利益			1,078,193		1,078,193	-	1,078,193
自己株式の取得				△ 156	△ 156	-	△ 156
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					-	201,159	201,159
連結会計年度中の変動額合計	-	-	815,404	△ 156	815,247	201,159	1,016,407
平成18年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	3,119,615	△ 156	11,348,369	3,156	11,351,525

# 財務諸表(単体)・株式の状況

▶ DATA

## 貸借対照表

(単位:千円)

科 目	第29期 (平成17年6月30日現在)	第30期 (平成18年6月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>	9,697,182	7,148,827
現金及び預金	5,957,035	2,524,274
受取手形	549,410	487,659
売掛金	1,616,172	1,812,562
製品	492,495	694,331
原材料	304,245	291,454
仕掛品	208,306	219,705
貯蔵品	16,206	12,586
短期貸付金	20,000	48,000
前払費用	57,993	63,704
繰延税金資産	55,277	73,932
未収入金	374,878	728,655
その他	46,214	192,997
貸倒引当金	△ 1,053	△ 1,037
<b>固定資産</b>	5,297,763	8,890,457
<b>有形固定資産</b>	2,936,620	3,758,101
建物	871,896	1,828,214
構築物	22,766	123,378
機械及び装置	316,685	395,810
車両及び運搬具	387	224
工具器具及び備品	144,151	197,001
土地	1,519,969	1,157,743
建設仮勘定	60,763	55,728
<b>無形固定資産</b>	146,164	102,803
<b>投資その他の資産</b>	2,214,978	5,029,553
投資有価証券	44,330	541,373
関係会社株式	1,184,041	1,384,041
関係会社出資金	-	547,850
出資金	1,100	1,100
長期貸付金	120,000	1,472,000
長期前払費用	1,713	1,830
繰延税金資産	207,559	314,871
保険積立金	602,146	661,488
会員権	32,141	32,968
その他	45,046	96,295
貸倒引当金	△ 23,100	△ 24,265
<b>資産合計</b>	<b>14,994,946</b>	<b>16,039,284</b>

(単位:千円)

科 目	第29期 (平成17年6月30日現在)	第30期 (平成18年6月30日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>	3,368,861	3,722,857
支払手形	474,683	572,779
買掛金	603,292	710,442
短期借入金	370,000	470,000
一年以内返済予定長期借入金	1,133,304	914,999
未払金	186,398	410,790
未払費用	67,174	79,941
未払法人税等	323,839	271,938
前受金	-	721
預り金	57,322	76,895
賞与引当金	55,967	70,432
役員賞与引当金	-	38,000
その他	96,879	105,916
<b>固定負債</b>	1,742,975	2,018,142
長期借入金	1,237,403	1,479,154
退職給付引当金	134,755	160,022
役員退職慰労引当金	370,816	378,966
<b>負債合計</b>	<b>5,111,836</b>	<b>5,741,000</b>
<b>【資本の部】</b>		
<b>資本金</b>	4,167,950	-
<b>資本剰余金</b>	4,060,960	-
資本準備金	4,060,960	-
<b>利益剰余金</b>	1,651,888	-
利益準備金	39,841	-
任意積立金	75,000	-
当期末処分利益	1,537,047	-
その他有価証券評価差額金	2,310	-
<b>資本合計</b>	<b>9,883,109</b>	<b>-</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>14,994,946</b>	<b>-</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>	-	10,316,262
資本金	-	4,167,950
資本剰余金	-	4,060,960
資本準備金	-	4,060,960
利益剰余金	-	2,087,509
利益準備金	-	39,841
別途積立金	-	75,000
繰越利益剰余金	-	1,972,667
自己株式	-	△ 156
<b>評価・換算差額等</b>	-	△ 17,977
その他有価証券評価差額金	-	△ 17,977
<b>純資産合計</b>	<b>-</b>	<b>10,298,284</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>-</b>	<b>16,039,284</b>

## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	第29期	第30期
	(平成16年7月1日から 平成17年6月30日まで)	(平成17年7月1日から 平成18年6月30日まで)
売上高	8,089,611	9,934,732
売上原価	4,434,029	5,486,620
売上総利益	3,655,581	4,448,111
販売費及び一般管理費	2,478,261	3,112,087
営業利益	1,177,320	1,336,023
営業外収益	108,828	32,719
営業外費用	130,582	43,975
経常利益	1,155,567	1,324,767
特別利益	55	-
特別損失	5,761	217,521
税引前当期純利益	1,149,861	1,107,245
法人税、住民税及び事業税	425,411	521,028
法人税等調整額	△ 24,361	△ 112,191
当期純利益	748,812	698,409
前期繰越利益	788,234	-
当期末処分利益	1,537,047	-

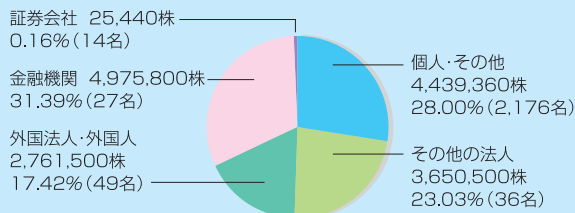
## 株式の状況 (平成18年6月30日現在)

発行可能株式総数	25,000,000 株
発行済株式の総数	15,852,600 株
株主数	2,302 名

## ●大株主

株 主 名	持株数(株)	議決権比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,652,800	10.43
宮田 昌彦	1,506,700	9.50
アイシーエスピー有限公司	1,500,000	9.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,087,100	6.86
宮田 憲次	934,400	5.89
株式会社ゲッツブラザーズ	708,000	4.47
株式会社ハイレックスコーポレーション	600,000	3.78
宮田 尚彦	476,100	3.00
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	331,200	2.09
朝日インテック社員持株会	328,320	2.07

## ●所有株式数別分布状況 (株式数15,852,600株、株主数2,302名)



## 株主資本等変動計算書 (平成17年7月1日から平成18年6月30日まで)

(単位:千円)

科 目	株 主 資 本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成17年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	1,651,888	-	9,880,798	2,310	9,883,109
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 237,789		△ 237,789		△ 237,789
役員賞与の支給			△ 25,000		△ 25,000		△ 25,000
当期純利益			698,409		698,409		698,409
自己株式の取得				△ 156	△ 156		△ 156
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)			-		-	△ 20,288	△ 20,288
事業年度中の変動額合計	-	-	435,620	△ 156	435,463	△ 20,288	415,175
平成18年6月30日残高	4,167,950	4,060,960	2,087,509	△ 156	10,316,262	△ 17,977	10,298,284



# 会社の概要・株主メモ

## 会社の概要

商号	朝日インテック株式会社 ASAHI INTECC CO., LTD.
設立	昭和51年7月8日
資本金	41億6,795万円
従業員数	●単体 301名（平成18年6月30日現在） ●連結1,665名（平成18年6月30日現在）
本社	〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地 TEL 052-768-1211(代)

事業内容	①心臓循環器系疾患の診断および治療分野においての低侵襲治療製品（治療用カテーテルシステム、検査用カテーテルシステム）の開発・製造・販売 ②ワイヤー素材、アセンブリ品等の産業用ステンレスワイヤーロープの開発・製造・販売 ③消化器分野、循環器分野、透析分野、放射線分野における低侵襲治療製品・部材の開発・製造およびOEM供給
------	--

## 役員（平成18年9月27日現在）

代表取締役社長	宮田 尚彦
代表取締役副社長	宮田 昌彦
専務取締役	竹内 謙次
常務取締役	川西 俊昭
常務取締役	福井 芳彦
取締役	湯川 一平
取締役	宮田 憲次
常勤監査役	前田 善雄
常勤監査役	渡辺 行祥
監査役	佐藤 昌巳
監査役	百瀬 登

（注）監査役佐藤昌巳および百瀬登は、社外監査役であります。

## 事業所

### ●国内事業所

東京営業所	東京都品川区
名古屋営業所	名古屋市守山区
大阪営業所	大阪府和泉市
メディカル事業部	愛知県瀬戸市
大阪R&Dセンター	大阪府和泉市
大阪物流センター	大阪府高石市

### ●国外事業所

香港支店	中国 香港
EU支店	オランダ アムステルダム
シンガポール駐在所	シンガポール ビシャン地区
東莞石龍朝日精密鋼線廠	中国 広東省東莞市

### ●関連会社

ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD.	タイランド パトゥムタニ県
ASAHI INTECC USA, INC.	米国 カリフォルニア州
ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.	ベトナム ハノイ市
フィルメック株式会社	名古屋市守山区
コンパスメッド インテグレーション株式会社	東京都新宿区



本社（名古屋市守山区）



ASAHI INTECC (THAILAND) CO., LTD.



メディカル工場（左） デバイス工場（右）

## 株主メモ

証券コード	7747
決算期	6月30日
定時株主総会	毎年9月
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 6月30日 中間配当金 12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
お問い合わせ先 (郵便物送付先・ 電話照会先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 03-5391-1900 (代) 0120-707-696 (フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページ ( <a href="http://www.asahi-intecc.co.jp/">http://www.asahi-intecc.co.jp/</a> ) に掲載します。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株券の種類	100株券、1,000株券
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部 JASDAQ証券取引所

IR情報は、ホームページ上でもご覧になれます。

ニュースリリース、財務情報、株主情報など、ホームページ上で最新の情報をご提供しております。

▶ <http://www.asahi-intecc.co.jp/>

## 株主の皆様へ

当社は、事業報告書を株主の皆様とのコミュニケーションの場とさせていただきたいと考えております。

お手数ですが、次のアンケートハガキにてご意見・ご感想をお寄せください。(切手を貼らずにご投函ください。)

✂ ----- キリトリ線 -----

### アンケートのお願い

Q1 どこで当社をお知りになりましたか。

1. 証券会社 2. 新聞・雑誌 3. ホームページ 4. 知人の紹介  
5. その他 ( )

Q2 当社株式をご購入された理由をお聞かせください。(複数可)

1. 技術力 2. 将来性 3. 収益性 4. 経営理念  
5. 安定性 6. 事業内容 7. 財務内容 8. 株価  
9. その他 ( )

Q3 当社株式をご購入された際の情報源は何でしたか。(複数可)

1. 四季報・会社情報等 2. 新聞・雑誌 3. 証券会社レポート  
4. 証券会社の勧め 5. その他 ( )

Q4 今後、当社株式について、どのような方針をお持ちですか。

1. 長期保有 2. 買い増し 3. 売却  
4. その他 ( )

その他ご意見がありましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

このアンケートのご回答は、今後の事業報告書の紙面づくりや、株主の皆様へのサービス拡充のために活用させていただきます。それ以外の目的で、株主の皆様の個人情報を公開・利用することは一切ございません。

キリトリ線



POST CARD

4 6 3 - 8 7 9 0

料金受取人払



差出有効期間  
平成19年6月  
30日まで  
(切手を貼らずに  
お出しください。)

名古屋市守山区脇田町1703  
朝日インテック株式会社

総務人事グループ  
株主アンケート係 行



ご芳名 または 貴社名	フリガナ .....
ご住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 道 市 区 町 府 県 郡 村



朝日インテック株式会社

〒463-0024 名古屋市守山区脇田町1703番地  
TEL 052-768-1211(代)

<http://www.asahi-intecc.co.jp/>



この印刷物は古紙配合率100%再生紙と  
環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。